LifeKeeper for Linux がサポートストレージ一覧

最終更新日: 2017/12/18

下記の表は、LifeKeeper for Linux の保護対象に利用いただくことができる、認定済みの共有ストレージの一覧です。ハードウェアの構成時にご利用ください。

【認定済みSANストレージについて】
LifeKeeper の共有ストレージとして使用するには、複数によって認定が必要なものもございます。

SCSI / FC / iSCSI / SAS など、LifeKeeper/SCSI-3.0 Reservation を用いてSCSIコンシステントにより保護による注、複数メンテ作一が一手を参考するお共有ストレージは認定されたものに利用いただく必要がありますす。下記の表に記載がある方をご確認ください。

※ EqualLogic/Windows Server 64 を利用したiSCSI-3.0 による Enhanced-HDD などにて共有利用者としてもストレージについても、同じ認定済が必要です。本ページに記載されを参照ください。

【認定対象外構成】
以下の構成において は、ストレージ認定対応ございません。

- SAS ストレージ(SAS Reservation)が必要です)
- StorageSpaces と EqualLogic等の複数ネットワークで冗長構成を行う構成、 その他で動作しない

【ご利用にあたってのヒント】
* USP/VSP(旧USP)など 複数ポート、コントローラーのHDストレージへの利用は冗長性へ ・ ・ ・